

マイナンバーカードを

取得しましょう！

マイナンバーカードを活用した住民票の写しなど証明書のコンビニ交付を、平成31年1月から開始する予定です。

問合せ

仙北市民生活課市民係
☎ 43 - 3307



コンビニで取得可能になる証明書

- ①住民票の写し
- ②印鑑登録証明書
- ③戸籍（全部・個人）事項証明書
- ④戸籍の附票の写し



コンビニで取得できる時間帯

- ①② ↓ 6時30分～23時（12月29日～1月3日除く）
- ③④ ↓ 市役所開庁日の9時～17時15分に限り取得可能です。



上記のサービスを利用するためには、マイナンバーカードが必要です。まだ取得されていない方は、次の方法で申請することができます。

マイナンバーカード申請方法

- 郵便申請／マイナンバー通知カードに同封された申請書を郵送↓後日市役所でカード交付
 - オンライン申請／パソコンやスマートフォンで申請↓後日市役所でカード交付
- ※申請の仕方がわからない方は、申請書類（郵送された通知カード、申請書）を持参のうえ、各庁舎窓口へご相談願います。



まちづくり日記

No.142

『愛すべきヒヤミコキ…』

仙北市長 門脇 光浩

アツという間に12月です。師走まで元気に仕事できたことに感謝です。1年を振り返ると、計画通りに進めることができなかった幾つかの事業、予想以上に成果が上がった事業、いろいろです。私的なことでは、タバコをやめてその呪縛から解き放たれ、自由を手に入れました。禁煙は辛くありません。問題は食欲を抑えられないことです。そして体重は増え続けるばかり…。だって身の回りには本当に美味しいものが豊富ですから。

そういえば、最近食をテーマにイベントが花盛りです。県内でも、湯沢市の「全国まるごとどんエクスポ」、大館市の「肉×博」などが急速に来場者を増やしています。湯沢は全国ブランドの稲庭うどん、大館も比内地鶏があり、食の祭典を立ち上げる中心核があることが特徴です。

仙北市だったら、どんな食のイベントが可能でしょう。もちろん幾つも代表的な食材はありますが、私はソバに着目しています。例えば全県の会議などで「仙北に行ったついでに、ソバを食べたら美味かったよ」と、こんな声をよく耳にし

ます。仙北市のソバ栽培は、県内で指折りの質と量になりました。その地元産のソバ粉でソバを打っているのですから、美味しいのは当たり前（そうではないソバ名産地は意外と多い）です。

ところで先日、ご縁に恵まれ内館牧子さん（作家・脚本家）のお話を聞くことができました。内館さんのお父さんは盛岡市、お母さんは秋田市出身で、岩手県も秋田県もペラペラ、双方の県民性にも精通しています。「冬にね、雪が降るでしょ。岩手の皆さんは近所に声をかけ合って除雪をするの。私も出るから、あなたも出てねって。これが秋田では全く逆なのね。私もやらないからあなたもやるなって。これって県民性でしょ。本当にヒヤミコキね。でね、もっとビックリなのはそんなヒヤミコキの頃から、全国学力トップの子どもが生まれるんだから、秋田って凄いわ」。

秋田が大好きな内館さんらしいお話です。愛すべきヒヤミコキですが、実は動き出した止まらない県民性と表裏一体です。来年は賑やかな1年になります。



放射線科のご紹介

市立角館総合病院 放射線科 加羽 馨

市民の皆さんも病院を受診された際に、1度は放射線科での画像撮影のご経験がおりかと思えます。移転新築にあわせて導入された高度医療機器を中心にご紹介させていただきます。

当科のスタッフは、中村科長のもと、診療放射線技師9人（男6人・女3人）、看護師1人、事務員1人体制です。病院移転時にCT、MRI、血管撮影、一般撮影、X線TV、乳房撮影、骨密度測定の新装置が更新され、撮影室は10部屋となっています。

CT装置は、X線を感じず検出器が16列から64列へと多列化され、高性能化により撮影時間短縮や大幅な被ばく線量軽減が実現されました。肺がん検診では一般撮影並みの線量での撮影が可能となり、心臓検査にも対応可能となっています。

MRI装置は、磁場の強さが0.5T（テスラ：磁場の単位）から1.5Tと高磁場になり検査対象が増え、頭頸部領域では血流解析やブランクの状態を見ることができ、血管内治療への対応も万全となりました。また、音のしないサイレントスキャン機能

により、静かな環境での検査が可能となっています。

血管撮影装置は、同時2方向の撮影が可能となり、造影剤の使用量を減らすことができるようになりました。また、血管内治療に必要な3D画像も容易に作成が可能となっています。

電子化となり、オーダーングシステムをはじめフィルムレス化へと移行し、撮影後フィルムを患者さんにお渡しすることがなくなり、画像はすぐに転送されモニター上で見ることが可能となりました。

画像診断では、秋田大学との間で遠隔画像診断システムが構築され、放射線科医が不在の時でも画像を送り読みしてもらうことで、迅速な治療を行うことができるようになっています。

全てを紹介しきれませんが、設備が充実したことで安心して検査を受けていただく体制が整っています。スタッフ一同、市民の皆さんに信頼されるように精一杯努力して参りますので、今後ともよろしくお願ひします。